

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和7年度加東市文化財保護審議会
開催日時	令和8年3月8日(日)午後1時30分から午後2時50分まで
開催場所	加東市滝野公民館(加東市下滝野1369番地)
議長の氏名(会長:神崎壽福)	
出席及び欠席委員の氏名	
出席委員	神崎壽福、瀧原務、湖内克利、中西正和、小山真永、森下大輔
欠席委員	無し
説明のため出席した者の職氏名	無し
出席した事務局職員の氏名及びその職名	加東市教育委員会教育振興部 生涯学習課(課長)松本裕介、(係長)岸本素直、(主任)上月克己
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<議題> 報告事項 (1) 令和7年度加東市文化財事業の報告について (2) 令和8年度加東市文化財事業について <会議結果> 別紙開催結果のとおり <会議の経過> 別紙会議の経過のとおり <資料名> 令和7年度加東市文化財保護審議会 資料

(別紙) 会議の経過

発言者	会議の経過／発言内容
事務局	報告事項
事務局	(1) 令和7年度加東市文化財事業の報告について
会長	【質疑応答等】
会長	・7ページについて、資料館の来館者満足度は、どういう形で集めているのか。
事務局	・来館された方に記入いただいている。満足、やや満足、やや不満、不満の4つの選択肢から選んでいただいている。
会長	・満足度に関する質問だけか。例えば、どこに共感を受けたのかを尋ねる質問はないということか。
事務局	・そのとおり。
会長	・来館者の傾向は令和3年度から調べているが、市内より市外が多いのだが、学校関係の状況はどうか。
事務局	・来館される年もあれば、来ない年もあってまちまちだ。学校以外の一般の方については、昔から市外の方が多い。
会長	・来館者満足度は高いので、コロナ禍前のように多くの方に来館いただければと思う。
事務局	・来館者へのアンケートについては、12月に実施した加古川流域滝野歴史民俗資料館運営委員会でも展示に反映できるように意見が出た。意見を踏まえ、アンケート用紙の記載事項は一度見直している。
委員	・3ページについて、下滝野・奥瀬遺跡発掘調査現地説明会の参加者数の180名というのは、人数として多いのか。
事務局	・多いと思う。新聞各紙にドングリ貯蔵穴が掲載されて、これだけの人数が集まった。
委員	・縄文時代の貯蔵穴はここ最近出ていないし、なかなか生で見られるものではないと聞いている。
委員	・ドングリは栽培か、自然発生か分からないか。
委員	・現地説明会で置いていたドングリはアベマキだったので、自然発生だと思われる。
委員	・来られた方の傾向は分かるか。
事務局	・年配の方も中学校の生徒もその保護者も多様な年代が来られていた。
委員	・先月、兵庫県南部で唯一とされる貝塚の発掘調査現地説明会があったが、参加者は約40名であった。それと比べてもかなり多い。
事務局	・下滝野・奥瀬遺跡発掘調査現地説明会は令和6年5月18日にも実施しているが、その時は発掘範囲がかなり狭かった。それで参加者は30名だった。今回はやはりドングリ貯蔵穴の話題が大きかったと思う。
委員	・貯蔵穴が縄文時代とする根拠を聞きたい。
事務局	・縄文土器の出土する層で見つかったというものです。
委員	・縄文土器が出土したのか。
事務局	・小さい破片が1点だけだが、出土している。令和6年度の発掘の時にも数点出土している。
事務局	(2) 令和8年度加東市文化財事業について
会長	【質疑応答等】
会長	・10ページ、11ページの朝光寺本尊の脇手の入れ替えについて、専門家が実施すれば問題ないのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁にもご理解いただいているし、文化財保護法第147条の規定に基づく選定保存技術の保存団体に実施いただく予定になっているので、問題ないと考えている。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> 脇手の入り混じりは確定しているのか。 ほぼ間違いない。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 12ページの秋津薬師堂の対策は、1日でも早く実施いただきたい。 県補助金の交付決定が出ればすぐに実施したいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 15ページについて、旧福田幼稚園に保管していた埋蔵文化財の移動先はどこなのか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> 旧滝野庁舎車庫にスペースを空けて移動する予定だ。 また旧庁舎に戻すのか。頻繁に文化財を動かすと劣化も進む。文化財は、市民の財産であることを踏まえ、適切な保管場所の確保について、しっかり検討いただきたい。
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 旧福田幼稚園に保管している埋蔵文化財はどのようなものか。 古代寺院に関係すると思われる建物址が検出されている喜田・清水遺跡から出土したまとまった瓦類が多かったように記憶している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の重要性が理解されていないように思う。市民に伝える機会が必要ではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度までは、滝野複合施設2階のギャラリーで年に1回企画展を実施していたが、近年はできていない。ただ、人員の関係で、新たな展示を企画するには、勉強のために時間をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 近年空き家の解体が進む中で、膨大な数の文物が離散している。埋蔵文化財だけでなく、これらのものや民俗資料も含め、保管できるように訴えて欲しい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 民俗資料の話が出たが、滝野歴史民俗資料館は1980年設置でまもなく50年が経過しようとしており、いつまでも存続は難しい。ただ、現在の建物を解体するとしても、資料館機能は残すべきものと考えている。
	<p>(3) その他</p> <p>【質疑応答等】</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年の文化財保護法改正により、文化財保存活用地域計画を作成して文化庁長官の認定を申請できるようになったが、加東市の状況はどうか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> これまでから特に進めているものではない。 近隣の状況はどうか。
委員 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 小野市や加西市で運用が始まっている。 計画作成のためには、もっと職員が必要という結論になる。 これまでから文化財の保存・活用については、教育振興基本計画に明示して進めている。文化財保存活用地域計画の作成の必要性は見極めていきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員の皆様の任期は令和8年8月31日までなので、9月以降も引き続き就任いただきたい。また、本審議会の委員は8人以内で組織するものであり、あと2人就任いただくことができる。学識経験があることが条件になるが、どなたか紹介していただきたい本審議会の構成が男性に偏っているため、女性委員を増やすことが望ましい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 適切な方がいれば、後日事務局に紹介していただきたい。その他質問がないようなので、以上で審議会を終了する。